

平成30年度西野田工科高等学校 学校運営協議会（全日制部会） 第2回議事録

日時：平成30年10月19日（金） 午後2時から4時

場所：西野田工科高等学校 校長室

出席委員：（敬称略）関元、立石、長谷川、堀

学校関係：富田校長、小笠原事務部長、梶田教頭、山根首席、長澤首席

議事録

1. 会長あいさつ

2. 学校の様子について

（校長より説明）

3. 授業見学

実習（機械系、電気系）、1年生・数学

委員からの意見

- ・生徒がいきいきと学んでいて、良い感じである。少人数で学ぶメリットを強く感じた。
- ・伝統ある西野田工科高校の授業を見せていただいた。優れた機械が多く圧倒された。
- ・生徒の顔つきが違っていた。多くの中学生や保護者に実態を知ってもらうことが必要である。体験授業に参加してもらえるよう努力して欲しい。
- ・数年前と比べ校内も綺麗になっており、ほとんどの生徒があいさつをしている。

4. 協議

（1） 学校経営計画進捗状況及び次年度の学校経営計画方針について

委員：離職率の調査は大切だが、離職した生徒のフォローアップはできるのか。

委員：企業は部活経験者を求めている。部活加入率を増加させるとよい。

校長：部活動は就職に有利ということもある。部活を頑張ることで、「生徒の学校定着」や「学校の活性化」をめざしている。

委員：中学校のクラブ活動は今後衰退すると思う。週2日は休みで、1日2時間の制約がある。

委員：図書館利用は充実させるべき。先生が読書の相談にのってもらえる仕組みをつくる。

首席：図書館利用率は増えている。「図書通信」は6号まで発行。昼休みは常駐しており、本を選んだり話をしにくる生徒が増えてきている。

校長：図書館でも先生と相談できるなどの多面的に生徒を支える機能を持たせたい。

委員：スマホ利用で、個人的な文章ばかりである。企業では、文書を書けることが大切である。図書館

利用と併せて、文章を書く指導をして欲しい。

校長：リテラシー教育も含め、社会人になるスキルを教える必要があると考えている。

(2) 学校教育自己診断の実施について

教頭：(昨年度の学校教育自己診断結果と今年度の学校教育自己診断の案について説明)

委員：(本年も同じ調査を了承)

(3) その他

校長：学校運営協議会に対する意見はありませんでした。